

KVM

放送

放送/制作スタジオ向け複数ユーザアクセスと 瞬時切替



大手ネットワーク放送スタジオは、既存のケーブル・ネットワーク上で動作するビデオ延長と周辺機器マトリクス・スイッチング・システムの設置を希望していました。既存のケーブルはCAT5eと光ケーブルで構成されています。

課題

40人のプロデューサ、ディレクタ、スタジオ技術者、オペレータが60台以上のコンピュータ、サーバ、ビデオソース、カメラに、任意のデスクからアクセス出来るシステムが必要でした。

かつて配備された競合他社のシステムは、スイッチングタイムの遅延、複数のユーザが同時アクセスできない、USB周辺機器対応の制限、むらのあるビデオとオーディオの品質、システムの耐久性が信用できないという問題を引き起こしていました。加えて、更新する必要のある古いインフラを使用していました。

ソリューション

スタジオはすべてのスイッチングと延長のソリューションを望んでいました。スタジオは生放送の制作に責任があり、対処すべき問題が多くありました。システムはできるだけ故障が少なく、信頼性と柔軟性が高いことが求められました。現在のシステムとその不具合はエンド・ユーザに不満を残し、限りのないトラブルに対処する、24時間/365日のITサポートが必要でした。

採用されたソリューションはDKM FX HDビデオ・周辺機器切替システムで、モジュール型シャーシ、インタフェースカード、エクステンダの構成でした。限られた時間の中で、現地への訪問もできず、プロダクト・エンジニア、アプリケーション・エンジニア、営業エキスパート、プロダクト・マネージャからなるブラックボックスチームは、連携しながら用途と課題をレビューしました。

デモ機器はブラックボックスにて設定され、スタジオに出荷されました。ここで弊社のエンジニアリング・スペシャリストによる最小限のオンラインと電話サポートで、チーフ・ハードウェア・エンジニアがセットアップおよびインストールを行いました。DKM FXトランスマッタがサーバ、コンピュータ、ビデオソースとカメラフィードにインストールされ、レシーバは各ユーザのステーションに接続されました。マネージメントとコントロールの単一の拠点がサーバー・ルームにインストールされ、CAT5eと光ケーブルの既存ネットワーク上に配置されました。

このHDビデオと周辺機器マトリクス・スイッチング・システムは非常に柔軟で拡張性があり、エンジニアが必要に応じて機器とユーザを追加して、放送の構成を拡張し続けることができます。ブラックボックスの製品開発およびサポートチームはクライアントのニーズを満たすために継続的にファームウェアのアップデートをリリースしています。